



明日香・聖徳通信



令和6年12月19日発行 校長 角田 哲典 第8号

□「お陰さま」で…。

「お元気ですか。」「はい、お陰さまで…。」

日本では昔からこうしたあいさつを大切にしてきました。「お陰さま」という言葉には、次のような説があります。

昔、旅人が暑い夏の日差しをしのぐために木の陰で休んだり、また、風や雨、雪を防ぐための木の陰で雨宿りをしたりしました。その木の陰に「お」をつけて「お陰」、さらに「様」をつけました。そこには「お陰さま」で旅を続ける事ができたと感謝する気持ちが込められています。

木は旅人のために枝を張り、葉を茂らせていたのではありません。木はただただ精一杯、木として生きるだけです。木のお陰で旅を続けることができたのだと昔の人は考えたわけです。

さて、今年もあと残りわずかとなりました。12月は2学期を締めくくる月であり、令和6（2024）年を締めくくる月でもあります。これまでの歩みをしっかり振り返って、次につなげてほしいです。

「反省する」という言葉をよく使います。・・・そう言われるとついつい、何か悪いことをしたときにするもののように感じますが、反省とは決してそういう意味だけではありません。反省とは授業でも行っている「振り返り」のことです。自分の悪い所だけではなく、良い所もしっかりと評価することも反省の大切な部分です。反省は、人が成長をするためには欠くことができない大切な作業です。以前の自分と今の自分を比較したり、立てた目標の達成度を確認したり。反省とは自分自身を見つめ直す作業のことでもあります。

児童・生徒の皆さんは日々成長しているのですから、今年の初めと比べて、今がどう変わったか？どう進歩したか？あえて自分自身を「第三者の目（ひいき目なしの客観的な

目）」を持って振り返ってみましょう。「背が伸びた」「体重が増えた」といった体の変化に加え、「勉強が分かるようになった」「家庭学習時間が増えた」など学習面の変化、「友達が増えた」「委員会で活動できた」「部活で上手くなった」「家の手伝いをした」など生活面での変化など必ずあるはず。もちろん良い面だけでなくマイナスになった所もあるかもしれません。その全てが反省です。そんな自分を振り返り、うまくいったことも、うまくいかなかったことも全部ひっくるめて、その全てが自分自身の事ですから自分自身にかかってきます。反省ができた人ほど次のステップへ進みやすくなります。

その反省の目安となるのが小学校では終業式の日担任の先生から手渡される「あゆみ」、中学校では三者懇談で手渡される「学習のあしあと」です。最も大切なことは、こ

の「あゆみ」「学習のあしあと」を見て、みなさんが自分をふり返し、次の目標に向けて取り組んでいくことです。

どんなに頑張ってもできなかったり、うまくいかなかったりすることは必ずありますが、「やりきった」「頑張った」という経験は、「やれるかもしれない？」からやがて「やれる！」という自信に変わります。そして、その自信は、必ずみんなの将来に生きます。年が変わるこの機会に、じっくりと時間をかけて1年間を振り返りましょう。

□小中合同マラソン大会（小・中）12月12日（木）

先日、晴天のもと小中合同マラソン大会を実施しました。（於：明日香村近隣公園）寒い時期に持久走に取り組むことは、体力を養い、「しんどい」ことでも目標をもって最後までやりぬく強い心を育てます。どの子も精一杯の力を発揮し、最後まで走り抜きました。

当日、近隣公園において、温かい拍手や声援を送っていただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。



□中学校制服モデルチェンジにむけて

中学校では、制服の改定に向けて検討をしています。昨年度より、「制服の機能向上」や「性への多様性への配慮」等の観点から、制服のモデルチェンジについて職員間で議論を重ねて参りました。

それを受けて、先日、中学校において「拡大制服検討委員会」を開催し、小中学校のPTA三役・小学校の教員代表・教育委員会代表で今後の制服の改定に向けた話し合いを持ちました。保護者の皆様からも様々なご意見をいただき、今のところ下記のような流れで進んでいます。

- 1, 業者 カンコー学生服
- 2, 導入年 令和8年度入学生をめど。
- 3, 制服 ブレザータイプ
(スカート・スラックスは男女とも選択制)

新しい制服モデル（イメージ）は、小・中学校とも3学期の授業参観で展示をします。

詳細につきましては、改めて保護者の皆様にご連絡させていただきます。どうかご理解・ご協力をお願いいたします。



（新制服イメージ）